

2020東京オリンピック・パラリンピック郡山市アクション&レガシープラン概要

策定の趣旨

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、本市のスポーツ振興、観光振興及び将来へのまちづくりを推進するため、オール郡山体制で取り組む「アクション」を示す。
- ・未来へ継承すべき「レガシー」をイメージする。
- ・「東京2020アクション&レガシープラン2016（大会組織委員会）」及び「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会復興推進ふくしまアクションプラン（福島県）」との整合を図りながら策定する。

東京2020大会ビジョン

- ・全員が自己ベスト
- ・多様性と調和
- ・未来への継承

基本コンセプト

開拓者精神の息づく「郡山」がレガシーを創出、世界に発信し、未来を拓く

計画期間

2017年4月1日から2021年3月31日まで

アクション&レガシー

国等のプランとの整合及び活用を図りながら、スポーツ庁の施策等と連携し、本市としての体系付けを行い、プランの推進を図る。

東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会が示す5つの柱

①スポーツ・健康

②街づくり・持続可能性

③文化・教育

④経済・テクノロジー

⑤復興・オールジャパン・世界への発信

(1) スポーツ参画社会の実現

- ① 「一地域一スポーツ運動(仮称)」等によるスポーツ実施率向上に向けた取組の推進
- ② パラリンピック競技や障がい者スポーツの魅力が多角的に発信、体験機会の提供

(2) 健康づくりの推進

- ① 健康維持を支える環境整備
- ② 高齢者スポーツの普及
- ③ 子供の運動機会の増加
- ④ 受動喫煙防止の環境づくりの推進

(3) スポーツ競技力の向上

- ① トップアスリートの養成
- ② スポーツ施設の充実
- ③ 追加競技種目・事前キャンプの誘致

(1) 国際交流の促進

- ① ホストタウンの推進
 - ② 外国人アスリート等の学校への派遣
- (2) 日本遺産をはじめ観光資源及び地元産品の世界発信
- ① 日本遺産プロモーション
 - ② 伝統文化・伝統芸能の発信
 - ③ 観光資源の発掘、整備、商品化、情報発信
- (3) 交流人口の増加及び経済効果
- ① 多言語ガイドブックの作成
 - ② インバウンド観光推進
 - ③ 観光映像アーカイブ構築発信

本市の基本目標

スポーツ振興

(①スポーツ・健康 ⑤復興・オールジャパン・世界への発信)

基本目標(創出するレガシー)

- (1) スポーツ参画社会の実現
- (2) 健康づくりの推進
- (3) スポーツ競技力の向上

アクション

観光振興

(③文化・教育 ④経済・テクノロジー ⑤復興・オールジャパン・世界への発信)

基本目標(創出するレガシー)

- (1) 国際交流の促進
- (2) 日本遺産をはじめ観光資源及び地元産品の世界発信
- (3) 交流人口の増加及び経済効果

アクション

3つの基本目標に共通する取り組み

(1) 参画

- ① 東京2020公認プログラム
 - ② 東京2020応援プログラム
- (2) ホストタウン
(3) パラリンピック
(4) 大規模大会との連携

まちづくり推進

(②街づくり・持続可能性 ④経済・テクノロジー ⑤復興・オールジャパン・世界への発信)

基本目標(創出するレガシー)

- (1) 安全・安心で持続可能な都市の実現
- (2) ICT基盤の整備(スマホ環境の充実)
- (3) 市民総参加のまちづくり

アクション

(1) 安全・安心で持続可能な都市の実現

- ① セーフコミュニティ認証取得に向けた取り組み
 - ② ユニバーサルデザインの推進
 - ③ 案内看板の多言語化
 - ④ 再生可能エネルギーの推進
- (2) ICT基盤の整備(スマホ環境の充実)
- ① 交通・ICT基盤の整備
 - ② 音声認識・多言語対応ロボットによる接客対応の普及拡大
- (3) 市民総参加のまちづくり
- ① オール郡山で国内、海外からのゲストを心からお迎えする
 - ② スポーツボランティアの育成